

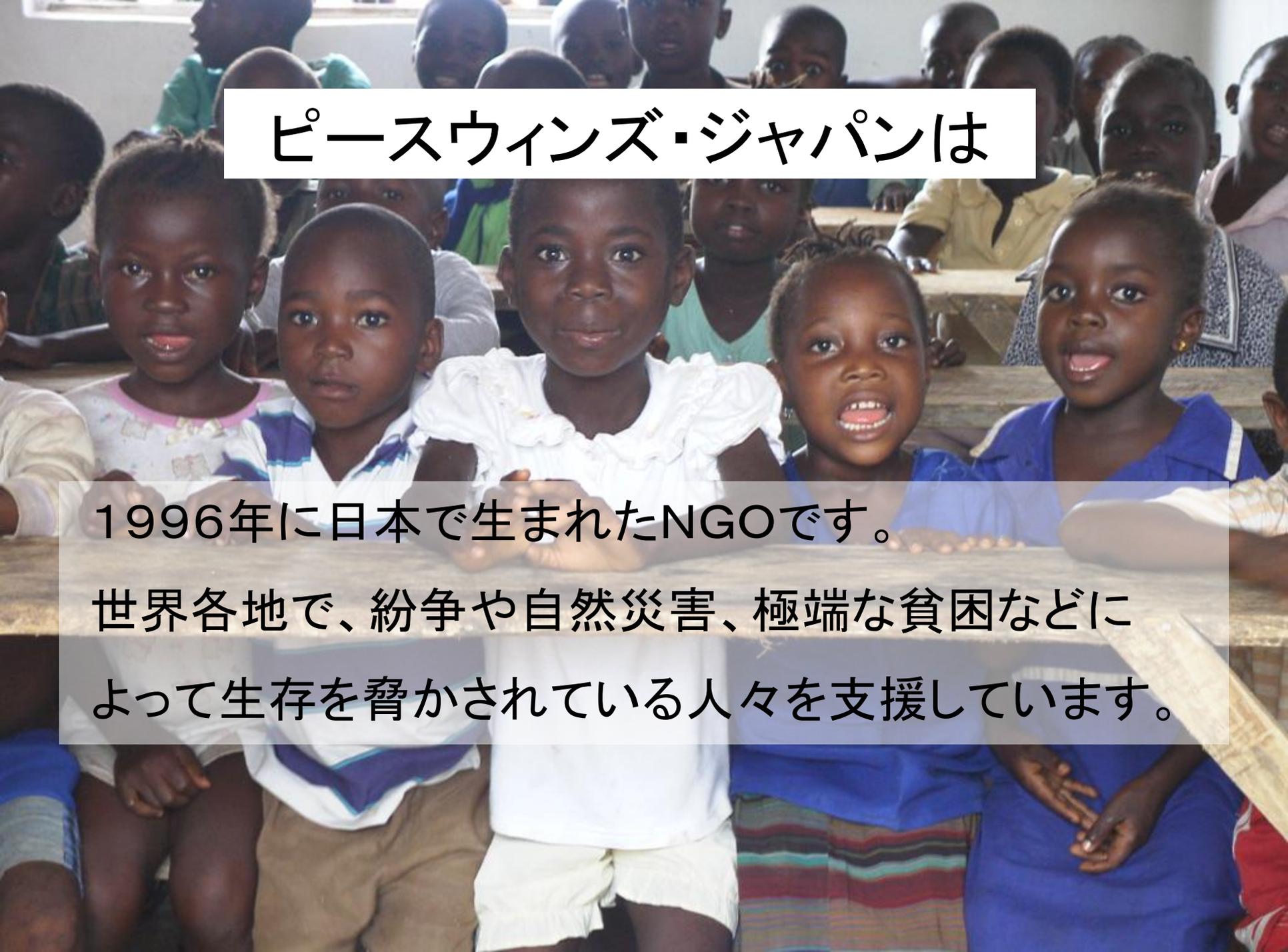


# 東日本大震災支援

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

山本 理夏



A group of young children, likely in a classroom, are looking towards the camera. They are sitting at wooden desks. The children are of various ethnicities, with many having dark skin. They are wearing simple clothing, some in school uniforms. The background shows more children and a classroom setting.

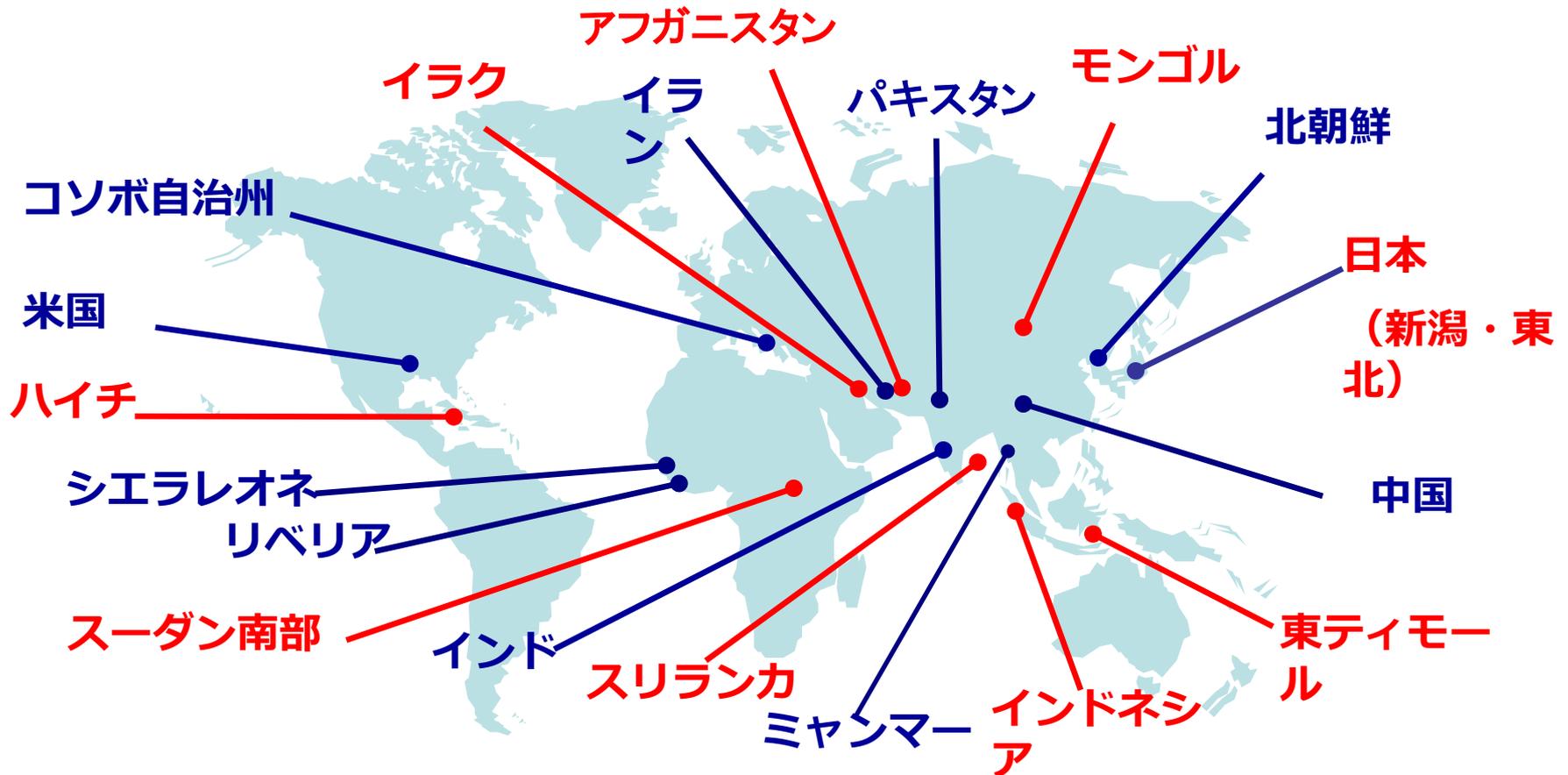
# ピースウィンズ・ジャパンは

1996年に日本で生まれたNGOです。

世界各地で、紛争や自然災害、極端な貧困などによって生存を脅かされている人々を支援しています。

# ピースウィンズ・ジャパンの活動地域

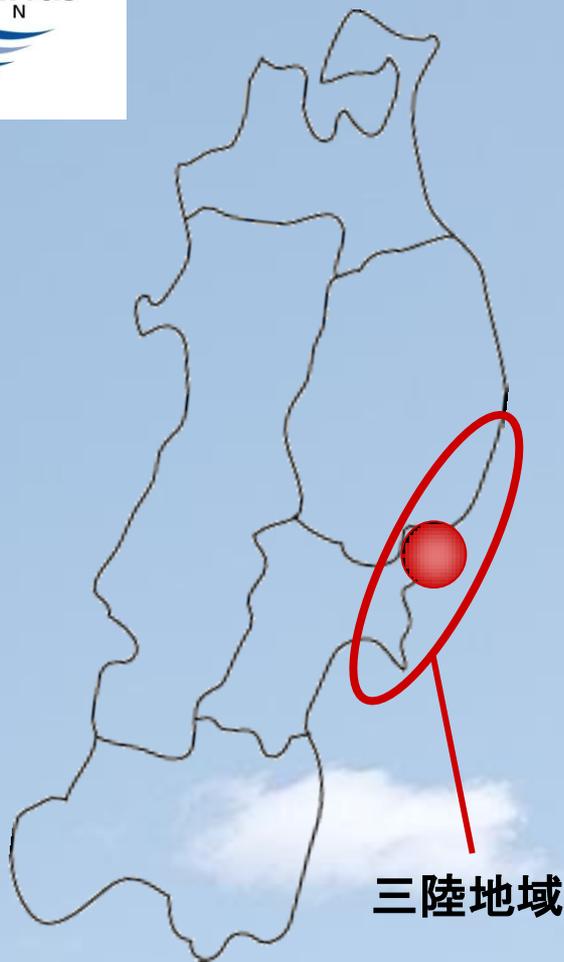
(1996年～現在)



●: 過去に活動した地域 (11地域)

●: 現在活動している地域 (8地域)

# 東日本大震災支援報告



# 陸前高田市中心部

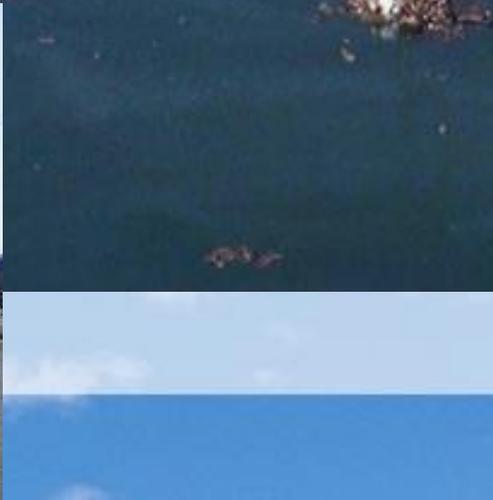


# PWJの初動・緊急支援(3.11-3.31)



- 3月11日 宮城県沖で大地震発生。対策会議で出動を決定。
- 3月12日 初動調査を開始。ヘリコプターで宮城県名取市、石巻市、気仙沼市周辺を視察。
- 3月13日 気仙沼市での支援を決定。緊急支援物資の調達と空路・陸路での輸送を開始。
- 3月14日 気仙沼市内で支援物資の配布を開始。
- 3月16-18日 気仙沼中学校の避難所で、衛星電話による電話サービス、携帯電話の充電サービスを提供。
- 3月18日 岩手県陸前高田市、大船渡市に活動を拡大。物資の配布を開始。
- 3月19日 姉妹団体Peace Winds America(米シアトル州)、および提携NGO Mercy Corps(米ポートランド州)のスタッフが被災地視察。
- 3月20日 宮城県南三陸町に活動を拡大。
- 3月28日 大船渡市で仮設風呂建設事業を開始。

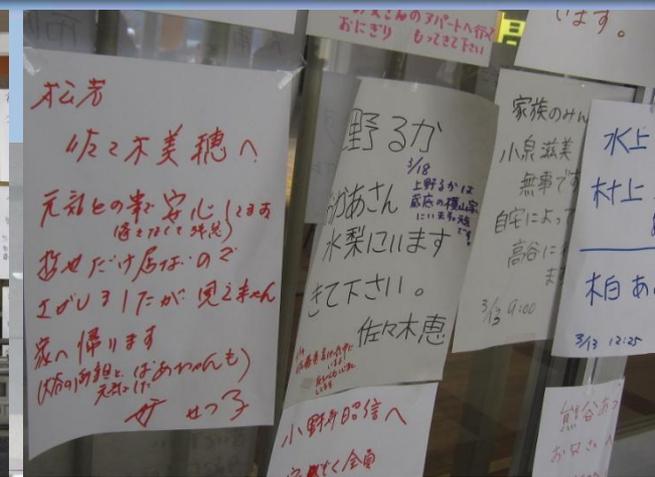
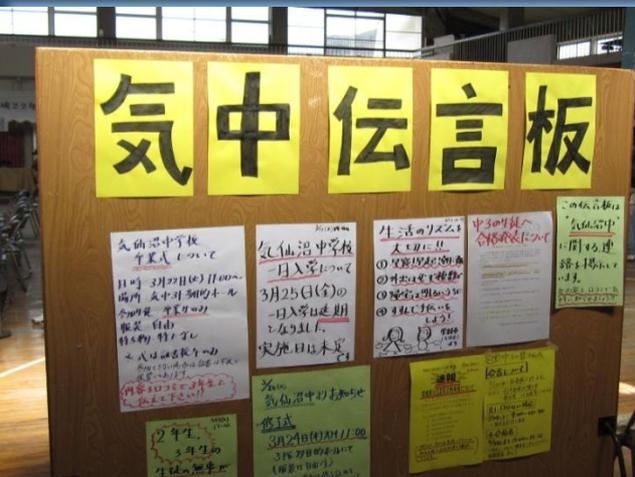
# ヘリから見た被災地(3月12日)



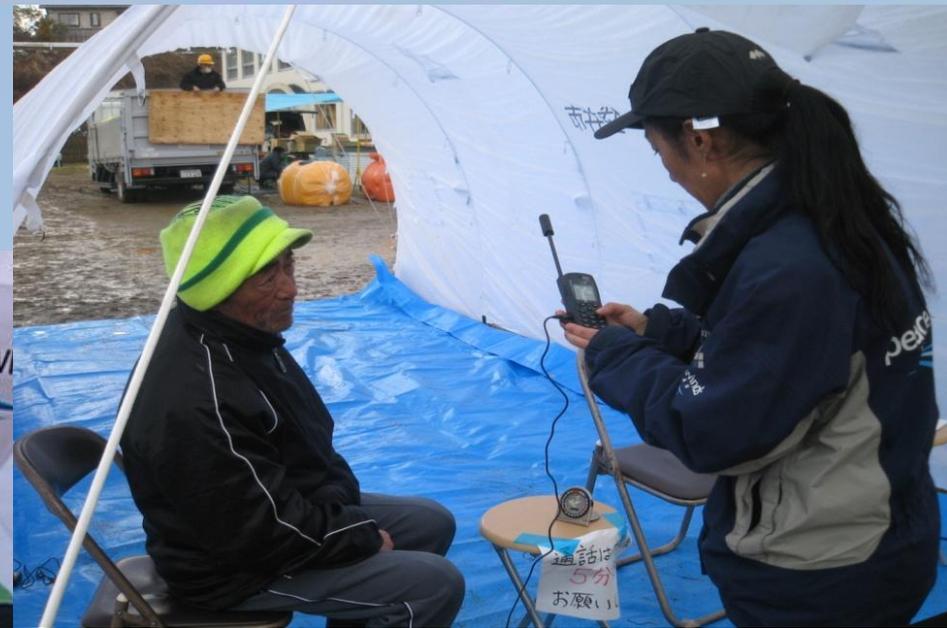
# 調査開始



# 避難所の状況



# 衛星電話の開放



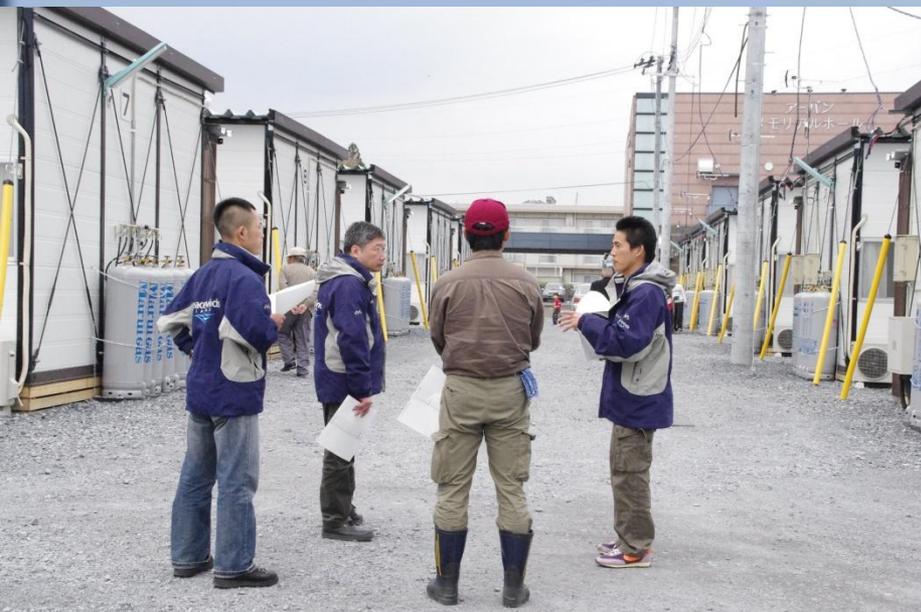
# 救援物資の配布



# 仮設風呂、コーヒー提供



# 仮設住宅への生活用品の提供



# 子どもの遊び支援、映画キャラバン



# 商工会を通じた経済復興支援



## 移動商店の支援



## 商品券の配布



## 無料買い物バスの運行支援

# 東日本でのとまどい

## とまどい①: 調整機能

被災地自治体の対策本部の疲弊、NGOの役割への認識の薄さ

## とまどい②: 支援の基準をどこにおくか

日本政府の支援の仕組み、国際基準(Sphere Project)の認知度

## とまどい③: 企業との連携

企業は、物資・人材・ロジスティクスなどの提供能力がきわめて高いが、それらを有効活用するしくみがない。

## とまどい④: 日本のNGO(=ローカルNGO)として

言葉、文化、日本人(日本の団体)であること

# 復興のあるべき姿とは？

